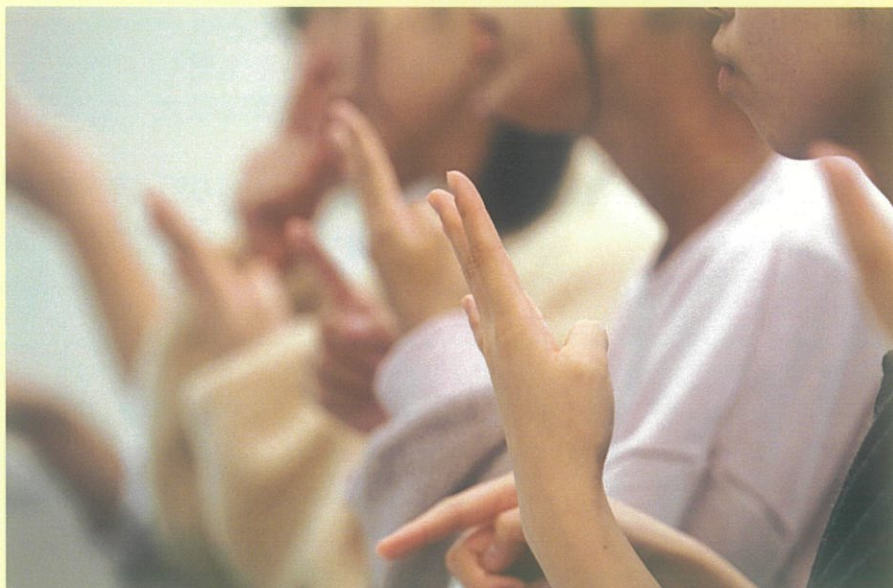


やってみよう

日本手話 ①

(試作版)



Supported by  日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

日本財団助成事業

群馬大学手話サポーター養成プロジェクト室

この教科書で学ぶみなさんへ (学習の構成)

START!

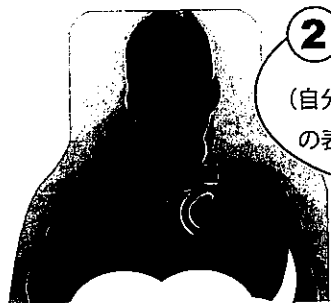
視覚言語である手話を
体験する

この教科書は、手話の知識を学びながら
様々な表現技能を身につけられるように、
以下の構成になっています。

1
手話の文法を知る

2
使ってみる
(自分で表現する・ろう者
の表現を見る・真似る)

3
文法を適切に用いた表現が
理解できる&表現できる



①~③を
繰り返します。

【前期の到達目標】
自分のことを話して
みよう

回数	各回のねらい
1	視覚言語である手話に触れてみよう (手話を見てみよう・手を動かしてみよう)
2	手話の音韻を知ろう・非手指動作を見てみよう
3	名称を表現してみよう・指差し表現を使ってみよう
4	自分の名前・家族を紹介しよう 非聞き手の代名詞表現を表してみよう
5	いろいろな動作動詞を知ろう、使ってみよう
6	可能・不可能を表してみよう
7	得意・不得意を表してみよう

Open the Door!

新しい世界を開こう!

会話フレーム



手話の構成

- ①手の動き (語彙)
- ②顔・体の動き (文法)
- ③空間の活用

この教科書の使い方 ラベル文の見方について

日本手話は、音声日本語のような書記言語はありません。そのため、テキストでは手話の文例に書記日本語を借用してカタカナ表記で載せています。

しかし、音声語のリズム・単語の意味範疇・運用例などは手話と異なることが多いので、カタカナ表記はあくまでも語順を確認するためのラベルとして見るに留めてください。

実際の使用はろう者の動きを確認しながら学習し、繰り返し表現して身に付けていきましょう。

8	表現チャレンジ! ; これまで学んだ内容を元に、自分のことを表してみよう
9	さまざまな否定表現を知り使い分けてみよう①
10	さまざまな否定表現を知り使い分けてみよう②
11	時制を表す空間表現を知ろう・時制 (現在進行形) を表してみよう
12	時制 (完了形・未来形) を表してみよう
13	文末コピーを用いて受動・能動を表してみよう
14	空間活用をして距離と位置関係を表してみよう
15	表現チャレンジ ; これまで学んだ内容を元に、いろいろな文章を表してみよう

やってみよう 日本手話① (試作版)

発行日：2019年2月

著者：下島恭子 能美由希子 川端伸哉 二神麗子

監修：金澤貴之

国立大学法人 群馬大学

手話サポーター養成プロジェクト室

〒371-8510 群馬県前橋市荒牧町 4-2

TEL 027-220-7157 / FAX 027-220-7390

<https://sign.hess.gunma-u.ac.jp/>

<https://www.facebook.com/gunmasign/>
